

昭島市

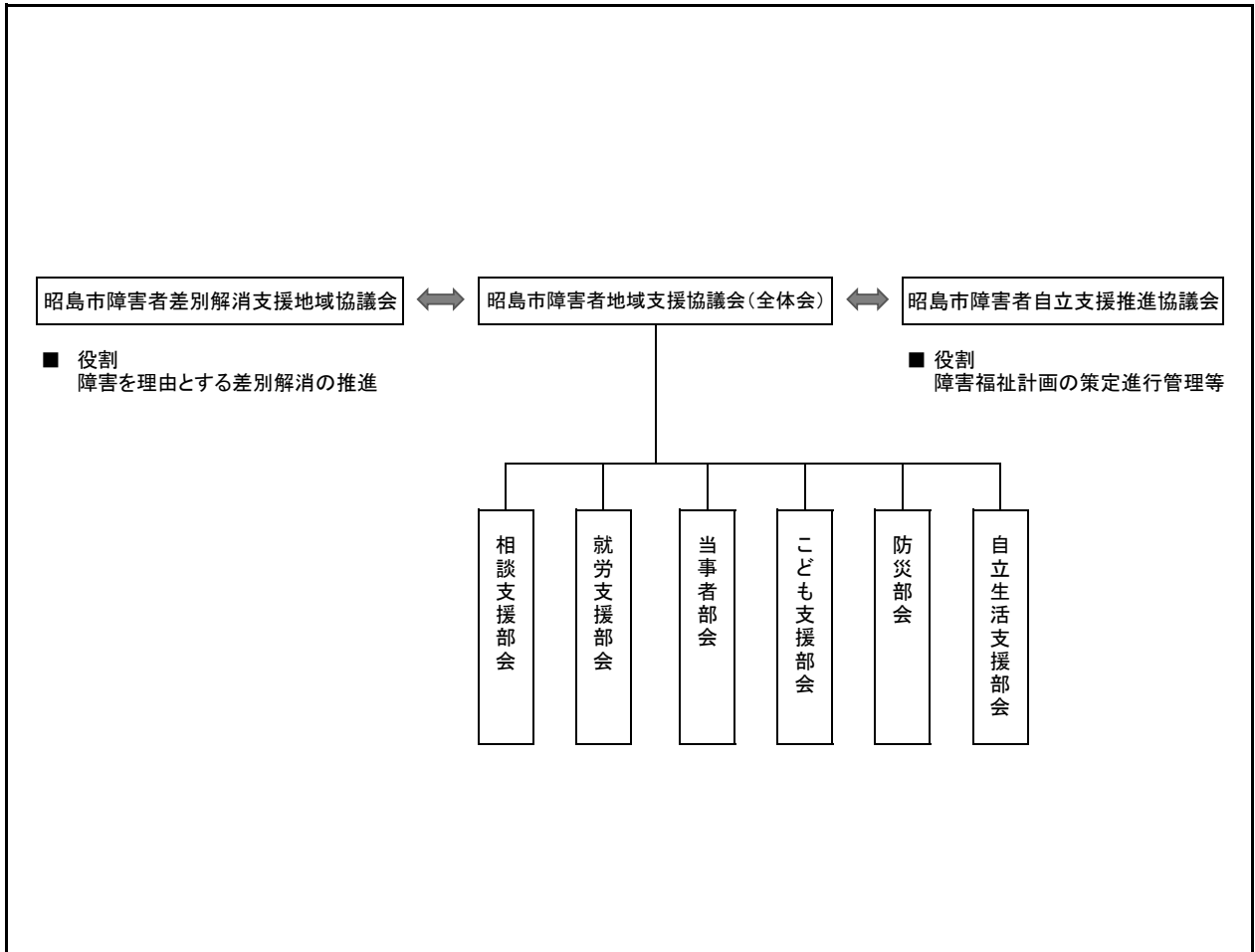
【名称】昭島市障害者地域支援協議会

【ホームページURL】 未設置

【設置年月】 平成28年4月

【運営方法】 直営

【組織図】



昭島市

【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
0	3	2	2	10	9

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
③ 検討中	未定	⑤ 未定

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
③ なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
4	15 (3)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
相談支援部会	12	22 (4)
就労支援部会	3	7 (0)
当事者部会	12	8 (5)
こども支援部会	6	9 (0)
防災部会	4	12 (4)
自立生活支援部会	12	19 (0)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

【全体会の委員構成及び活動内容】

（１）委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	0	医療関係者	1	保健所	0
教育関係機関	1	雇用関係機関	1	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	4	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	1
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		

合計	15
----	----

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	委員長	三原 恭明		障害当事者・家族・関係団体	
2	副委員長	渡辺 おりえ		障害福祉サービス等事業者	
3	副委員長	太田 紋何		障害福祉サービス等事業者	
4		大西 保正		医療関係者	
5		細川 信之		教育関係機関	
6		長谷川 京子		障害福祉サービス等事業者	
7		大野 涉		障害当事者・家族・関係団体	
8		出口 泰子		障害当事者・家族・関係団体	
9		吉澤 孝行		相談支援事業者	
10		加藤 治男		障害福祉サービス等事業者	
11		能登部 文江		民生委員・児童委員	
12		田中 彰		障害福祉サービス等事業者	
13		阿部 裕之		雇用関係機関	
14		宮寄 明美		障害当事者・家族・関係団体	
15		村上 将則		社会福祉協議会	

（２）活動内容

関係機関等が相互に連携を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、地域の実情に応じた体制の整備等について協議を行い、支援体制の整備を図る。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種 別 \ 部 会 名	相談支援部会	就労支援部会	当事者部会	こども支援部会	防災部会
学識経験者	0	0	0	0	0
医療関係者	1	1	0	0	0
保健所	0	0	0	0	0
教育関係機関	0	2	0	1	0
雇用関係機関	0	1	0	0	0
企業	0	0	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	1	0	8	5	6
身体・知的障害者相談員	0	0	0	0	0
相談支援事業者	14	0	0	1	0
障害福祉サービス等事業者	1	3	0	1	0
社会福祉協議会	1	0	0	1	0
法曹関係者	0	0	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0	0	1
地域住民	0	0	0	0	1
行政職員(区市町村)	2	0	0	0	3
行政職員(都)	0	0	0	0	1
その他	2	0	0	0	0
計	22	7	8	9	12

種 別 \ 部 会 名	自立生活支援部会
学識経験者	0
医療関係者	1
保健所	0
教育関係機関	4
雇用関係機関	0
企業	0
障害当事者・家族・関係団体	0
身体・知的障害者相談員	1
相談支援事業者	2
障害福祉サービス等事業者	10
社会福祉協議会	1
法曹関係者	0
民生委員・児童委員	0
地域住民	0
行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0
その他	0
計	19

(2) 活動内容

部会名	活動内容
相談支援部会	<p>今年度より、WEBにて毎月会議を開催した。令和3年4月から全12回開催した。今年度の検討内容として、以下を中心に検討を行った。</p> <p>① 地域課題解決への具体策の検討。 隔月で2ケースずつを検討して全10ケース地域課題の抽出を行った。上がってきた地域課題をまとめて地域支援協議会へ提出する。</p> <p>② 基幹相談支援センター設置や昭島市の相談支援体制構築に向けた検討。 昨年度取り組んだ内容に加えて、より具体的な検討を行った。すでに基幹相談を行っている国分寺市基幹相談支援センターの協力を得て、WEB会議に参加いただき、現在行っている事業等について話をしてもらった。</p> <p>③ 障害者支援における感染症（新型コロナウイルス感染を中心に）の対策について検討。 地域支援協議会のコロナ対策検討委員会に部会員からも参加した。担当課と連携して、実際に困っているケースなどをあげていき障害がある方の予防接種の方法や、予防接種会場までの交通手段の対応等に尽力した。</p> <p>④ 障害児の相談支援について現状を学習し、教育・医療分野とも連携できるよう対策を検討。 障害児を支えるため、年齢に応じてどこに相談をすればいいのかを図式化できるように検討している。また、アキシマエンス（昭島市教育福祉総合施設）内の機能を知るため、見学を企画していたが、新型コロナウイルスの影響で延期となった。来年度に改めて見学の予定を立てる。</p> <p>⑤ その他 人材確保プロジェクトに部会員からも参加して、「福祉で働こう 福祉の仕事講演会」の開催に向けて検討を行い、無事に開催することができた。</p>
就労支援部会	<p>昭島市障害者プランに沿って、障害者雇用促進のため、次のような活動を行った。</p> <p>① 市役所内での職場体験実習の実施方法について確認し、今後、対象者の拡大を行うための制度確認を行うことを協議した。</p> <p>② 昭島市商工会との連携を図るため、商工会事務局長との協議を行い、理解・啓発活動の資料作成を開始し、市内事業者への働きかけを行うことを決定した。（オブザーバーとして就労支援センターのコーディネーターと特例子会社役員（地域支援協議会委員）の参加）</p>
当事者部会	<p>① 障害者同士の理解促進と差別解消に向けた取組 ② 障害者が地域で安心して生活していくための取組 ③ 定例会（月1回）、市長懇談会、学習会等を開催</p>
こども支援部会	<p>活動目的：障害のある子ども達とその家族のニーズに寄り添い、人権が尊重され、安心・安全な生活の中で持てる可能性を十分に伸ばすことのできる支援の在り方を考える。</p> <p>活動内容：新型コロナウイルスワクチン接種に関して担当課と懇談会を実施、放課後等デイサービス事業所へ実態調査アンケートを実施、副籍の状況把握のため、保護者や担当課へ聴き取り調査等</p>
防災部会	<p>① 要支援者全体計画・個別計画について ② 学校避難所について ・運営委員会の開催状況と当事者・家族の参加について ・避難所マニュアルの改訂について ・マンホールトイレの設置状況について ③ 福祉避難所、要支援者避難支援について ④ 総合防災訓練について ⑤ 防災基本計画の改訂について</p>

部会名	活動内容
自立生活支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会についてオンラインで開催。地域支援協議会及び差別解消支援地域協議会の報告、新型コロナウイルス感染症の影響について情報共有、教育関係機関からの情報 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、市健康課や障害福祉課とワクチン接種の配慮が必要な方についての懇談 ・市民向けに、障害福祉の人材確保を目的としたイベントの実施（オンライン開催） ・移動支援事業の課題について要望 ・差別解消法の啓発活動（市民向けパンフレットの作成） ・知的障害がある方の仕事や日中活動終了後・週末等の余暇活動について、ニーズや地域活動状況等の調査 ・他市の地域支援事業の調査

【地域協議会の活動状況】

1 地域協議会の協議事項（複数回答）

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること

市内に不足している社会資源について共通認識を持ち、あわせて障害者福祉施設の整備状況について情報共有を行っている。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

地域生活支援拠点等の整備にあたって課題となっている社会資源の不足をどのようにして充実させ、整備を図っていくかを協議している。

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること

協議会の開催回数や開催時期、開催時間等、協議する議題の進捗状況等に応じて、意見を募りながら臨機応変に進めている。

2 地域協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

市が現在抱えている様々な問題を顕在化し、共通認識を持つよう協議している。

② 情報共有・情報発信

事務局をはじめ、委員それぞれが持っている情報を協議会で発信し、共有した上で関係機関に周知を図っている。

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

市内の社会資源の現状を整理し、不足している社会資源の解決について協議する。

⑤ 地域課題の整理

地域で抱えている課題を整理し、共通認識を図っている。

⑥ 課題解決に向けての検討

様々な課題について、必要に応じてプロジェクトを組み、緊急度に応じてどのように取り組んでいくか協議している。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

障害者福祉計画の進捗状況について報告し、地域で課題となっている案件に関し、どのように計画に盛り込んでいくか調整を図っている。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

構成員又は構成員を取り巻く組織の中で各々が疑問に思っていることを自由に討議し、疑問点や不明点の解消に努めている。

⑩ 権利擁護・虐待防止

権利擁護や虐待に関する事案が発生した際には、迅速に対応できるような運営を行っている。

3-1 地域協議会における地域課題

① あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

① アンケート、ヒアリング等

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

福祉の人材不足を解消するため、プロジェクトを組んでイベントを開催した。

⑥ 緊急・災害等対応

緊急時や災害時にどのように支援をすることが可能か、協議を行っている。

⑩ 就労支援

障害のある学生に向けて市役所内で職場体験実習を企画し、就労支援を図っている。（令和3年度はコロナの影響により、中止となった。）また、就労を継続するうえでの課題等についても情報共有を図っている。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑥ 緊急・災害等対応

緊急時や災害時には、避難誘導や必要な物資の配送等、マンパワーが必要になると考える。また、避難所等については地域によって近隣市の避難所の方が便利なケースも考えられるため、広域又は東京都全域で対応していくことが望ましい。

4 地域協議会における当事者の参画状況

（当事者の委員がいる区市町村）

4-1 (1) 当事者委員が、どのような経緯で委員に選任されたか、又は、どのような所属、背景、経歴等の方が

市内の障害者団体から推薦をいただき、選任したほか、市内相談支援事業所等において勤務している委員もいる。

(2) 多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

視覚障害のある方に対して、資料配布時において、書類だけでなくメールでも送付するようにしている。また、聴覚障害のある方に対しては、手話通訳者用の資料も準備している。会議の開催にあたり、発言をゆっくり行うよう、また挙手をしたうえで自らの名前を名乗り、発言するよう注意を促している。

（地域協議会を設置している区市町村）

4-2 当事者の委員だけでなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、年齢等）の声を吸い上げられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

会議の中で、各委員の周囲や事業所で起きたこと、疑問に思っていること、身近な方からの意見等を自由に話していただくように進めている。